

*** 庄原市からの大切なお願い ***

WEBで回答できます

庄原市行政経営改革大綱策定に向けた 市民アンケート調査にご協力ください！

この調査は、「第3期庄原市行政経営改革大綱(計画)」の策定に役立てるため、市民の中から無作為に抽出した18歳以上の方3,000人を対象に、無記名回答で行います。集計結果は公表しますが、個人に関する情報が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

令和8(2026)年4月 庄原市

4月30日(木)までに、郵送またはWEBにて回答をお願いします。

*** どちらかでご回答ください ***

▼郵送で回答する場合

手順1

次ページ以降のアンケート調査票に、直接ご記入ください。



手順2

同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへ投函してください。
※切手は貼らずにお出してください。
※返信用封筒にお名前やご住所をご記入いただく必要はありません。

▼WEB(インターネット)で回答する場合

次のURLまたは二次元コードからアンケートページへアクセスしご回答ください。

URL : <https://questant.jp/q/EFL50TST>

※WEBでご回答いただいた場合は、この調査票の返送は不要です。



～アンケート回答にあたって～

- 1 送付した封筒の宛名に記載されているご本人様をご回答ください。ただし、ご本人様のご回答が難しい場合は、ご家族の方が代わりにご回答いただいても構いません。
- 2 WEB回答では、スマートフォンやパソコンの言語設定に応じた多言語表示が可能です。

<この調査に関する問い合わせ先>

庄原市 行政経営改革課 行政経営改革係

TEL : 0824-73-1112 E-mail : gyousei@city.shobara.lg.jp

・はじめに

本市では、将来にわたり必要な行政サービスを維持していくため、その基本的な考え方や取組の方向性を示す「行政経営改革大綱」を策定し、行政経営改革に取り組んでいます。

本ページでは、まず、人口や公共施設、財政の状況など、本市を取り巻く現状をお伝えします。その内容を踏まえ、今後の行政運営のあり方について、アンケートへのご協力をお願いします。

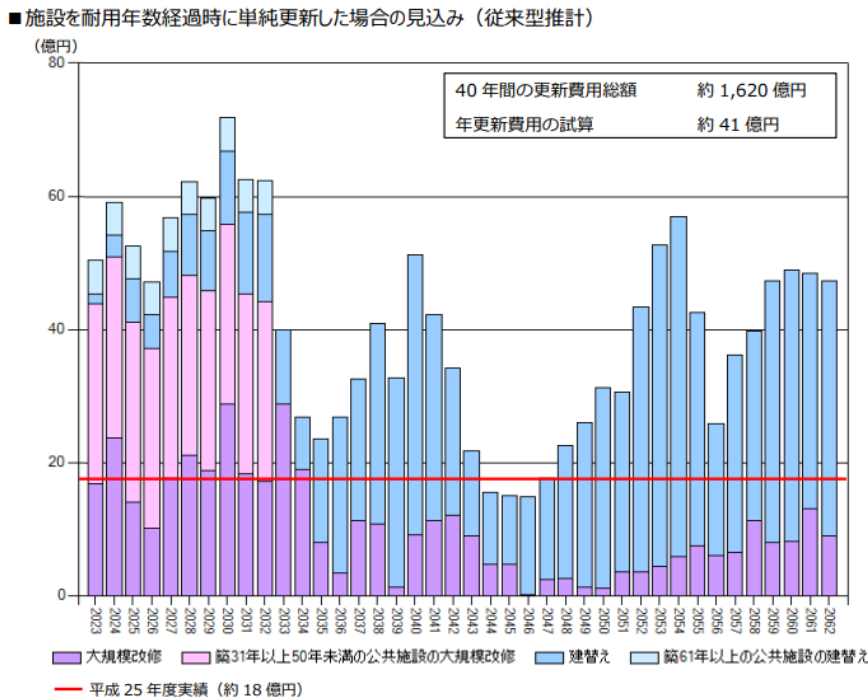
① 人口の推移と将来見通し（下図）

図に示すとおり、本市の人口は減少傾向にあり、今後もこの流れが続くことが見込まれています。特に、生産年齢人口（働き手の中心となる人口のこと）の減少が進むことで、行政サービスを支える担い手や財源の規模、さらには自治振興区をはじめとする地域の担い手のあり方にも影響が生じることが想定されます。人口構成の変化により、行政運営を取り巻く前提条件はこれまでとは異なってきています。



② 公共施設の現状と更新費用の見通し（下図）

一方、本市の公共施設の多くは整備から長い年月を経ており、今後、老朽化の進行に伴って更新や建替えの時期を迎えていきます。図に示す将来推計からは、施設を耐用年数経過時に単純更新した場合、更新時期が一定期間に集中し、長期にわたり多額の更新費用が必要となることが想定されます。公共施設の維持・更新は、将来にわたって財政運営に大きな負担が生じる見込みです。



③人口規模と人口密度（下図）

本市は人口減少に加え、市域が広く人口密度が低いという特徴があります。また、人口減少に伴い、さらに人口密度の低下が見込まれます。こうした中で、公共施設や地域の仕組みをどのように維持していくかが課題となっています。

①人口（令和2年国勢調査） （単位：人）			② 面積 （単位：㎡）			③人口密度（令和2年国勢調査） （単位：人）		
	市名	人口		市名	面積		市名	人口密度
1	広島市	1,200,754	1	庄原市	1,246.60	1	広島市	1,324
2	福山市	460,930	2	広島市	905.01	2	福山市	890
3	呉市	214,592	3	三次市	778.19	3	呉市	608
4	東広島市	196,608	4	北広島町	646.20	4	尾道市	460
5	尾道市	131,170	5	東広島市	635.32	5	大竹市	335
6	廿日市市	114,173	6	安芸高田市	538.17	6	東広島市	310
7	三原市	90,573	7	福山市	518.07	7	廿日市市	233
8	三次市	50,681	8	廿日市市	489.36	8	江田島市	218
9	府中市	37,655	9	三原市	471.02	9	竹原市	203
10	庄原市	33,633	10	神石高森町	381.98	10	三原市	192
11	安芸高田市	26,448	11	呉市	353.29	11	府中市	192
12	大竹市	26,319	12	安芸太田町	341.89	12	三次市	65
13	竹原市	23,993	13	尾道市	284.85	13	安芸高田市	49
14	江田島市	21,930	14	府中市	195.71	14	庄原市	27
	町 北広島町	17,763		12	竹原市	118.30	町 北広島町	27
	町 神石高森町	8,250		13	江田島市	100.89	町 神石高森町	22
	町 安芸太田町	5,740		14	大竹市	78.13	町 安芸太田町	17

人口密度同規模の町

④今後の財政見通し（下図）

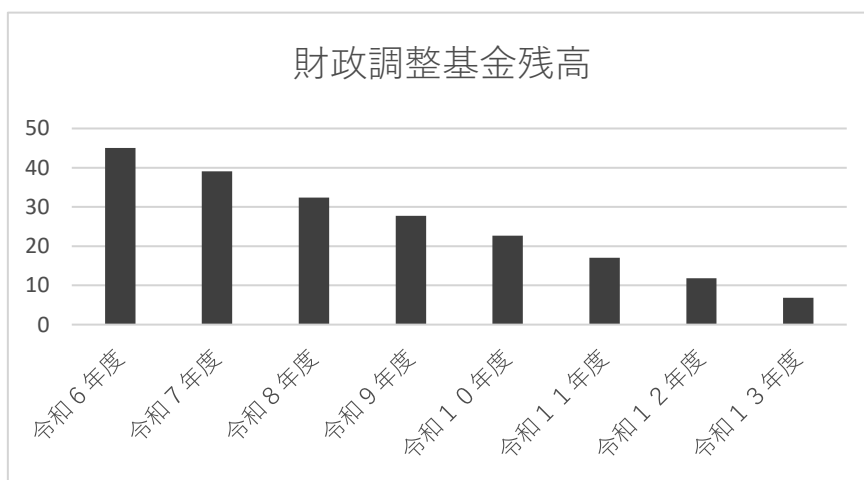
今後の人口減少などにより、収入の伸びが見込めない中、社会保障費やライフラインの維持管理経費などの経費は高止まりが想定されます。

現在の推計では、今後、「支出」に対する「収入」の不足を補うため、毎年5億円程度の財政調整基金（貯金）を取り崩す必要があります。何も対策をせずにこの状況が続くと、貯金残高は、令和13年度に約7億円まで減少し、突発的な災害対応などへの備えができなくなるという大変厳しい財政状況となります。

なお、庄原市の貯金は、18.2億円～36.4億円を確保することが望ましいとされており。

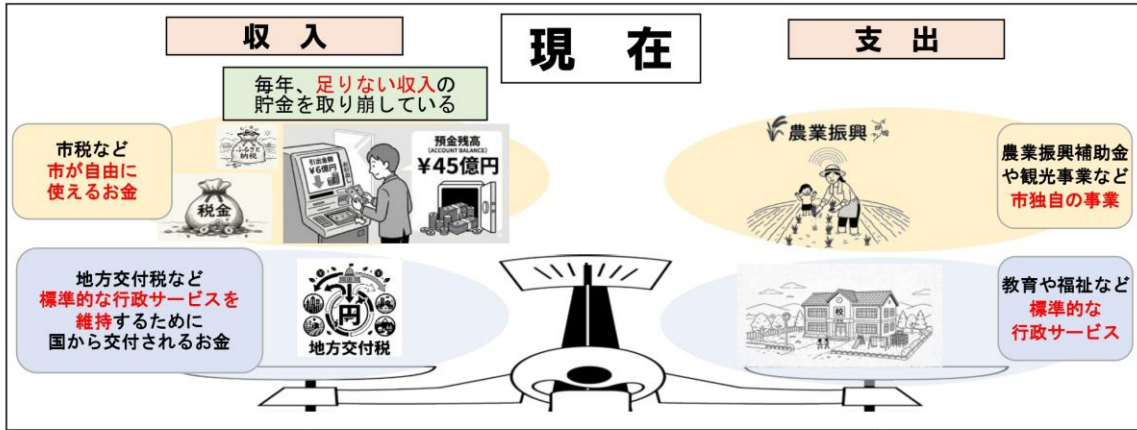
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
年度末財政調整基金残高	45.3億円	39.1億円	32.4億円	27.7億円	22.7億円	17.0億円	11.8億円	6.8億円
基金取り崩し額(A)	4.0億円	8.6億円	6.8億円	4.7億円	5.1億円	5.8億円	5.2億円	5.0億円
基金積み立て額(B)	2.5億円	2.4億円	0.1億円	0億円	0.1億円	0億円	0億円	0億円
基金増減(B)-(A)【※】	1.5億円	6.2億円	6.7億円	4.7億円	5.0億円	5.7億円	5.2億円	5.0億円

※その年の「支出」に対して、「収入」が不足する額、いわゆる赤字額を基金を取り崩して賄う額です。

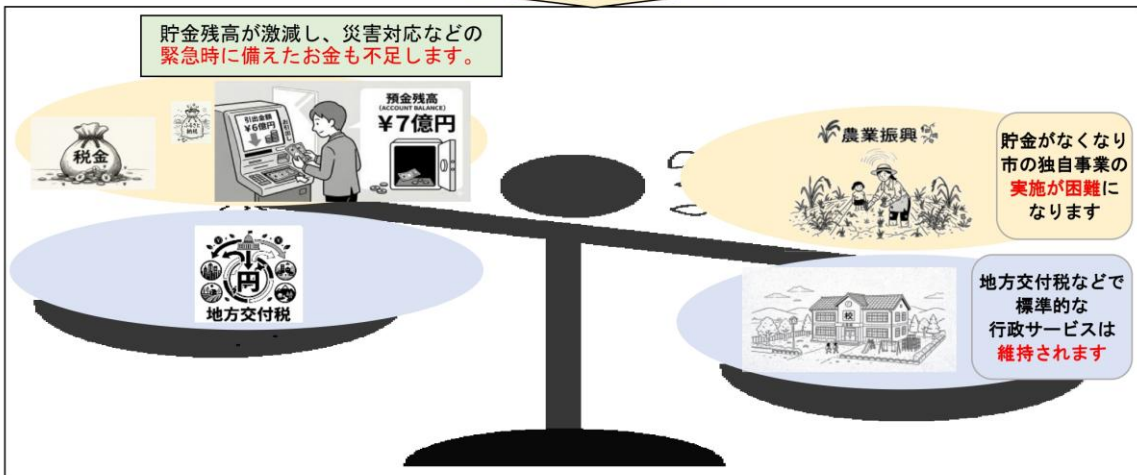


～ 行政経営改革とは ～

現在、庄原市は、毎年、**不足するお金を「貯金を取り崩して」**やり繰りしています。
 このままでは、災害など緊急のために蓄えている**重要な貯金もなくなってしまいます。**
 そのため、今のうちに「効果的な事業への見直し」や「公共施設の統廃合」、「補助金の見直し」、「支所機能の見直し」、「ふるさと納税の確保」などの改革に取り組み、将来にわたり**安定的な行政運営**を行い、**安心な暮らしが充実する庄原市のまちづくりを進めます。**



このままでは・・・



今のうちに**改革**をして



問25 あなたおよび同居しているご家族のスマートフォンの保有状況について、当てはまるものを教えてください。(〇は1つ)

1.自分自身がスマートフォンを使用している
2.自分は持っていないが、同居している家族がスマートフォンを使用している
3.自分も同居している家族も、スマートフォンを使用していない
4.分からない

問26 あなたおよび同居しているご家族のスマートフォンでの「通話以外の機能」の活用状況について、当てはまるものを教えてください。(〇は1つ)

1.自分自身が「通話以外の機能」を使用している
2.自分は「通話以外の機能」を使用していないが、同居している家族が活用している
3.自分も同居している家族も、「通話機能」しか使用していない
4.分からない

問27 現在、住民告知端末に代替する手段として、スマートフォンの市公式アプリによる情報配信を検討しています。実施した場合、あなたは利用を希望するかどうか、教えてください。(〇は1つ)

1.利用したい
2.利用したくない
3.わからない

ご協力いただき、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れてご返送ください。